



Musical For All

あらゆるひとに参加と鑑賞の機会を

Annual Report

2024

続けることで見えてくること



歌が得意。踊るのは苦手。
違う言語を使う。裏方のほうが好き。
演じてみたい。舞台鑑賞が好き。
車椅子を使う。音楽が好き。

好きなことも苦手なことも、
もっと自分らしく表現できたら
一体どんな舞台が生まれるだろう？

「できる」「できない」を
もっと気軽に分かち合えたら
世界はどんなふうになるだろう？

それは、
参加する人も、鑑賞する人も、
応援する人も、一つになってつくる舞台。

「ふつう」や「当たり前」から自由になって、
<自分らしさ>を分かち合う空間。

あらゆる違いが織りなす、もっと多様で、もっと多彩なミュージカル
「A COMMONBEAT」を届けたい。

Musical For All——あらゆるひとに参加と鑑賞の機会を。

私たちは、参加する人、鑑賞する人、
あらゆるひとのミュージカルへのアクセシビリティを高め
「個性が響きあう社会」の実現をさらに推し進めていきます。

2023年に立ち上がった、Musical For All。

「わからないながら、まずやってみた」初年度、そして、2年目となる2024年は「取り組みを続けながら、小さな改良を積み重ねる」ブラッシュアップの一年となりました。このプロジェクトは、あらゆる人と表現の喜びを分かち合うためのアプローチを、専門家やプロだけに任せるのではなく、市民に開いていく挑戦でもあります。その一年の軌跡を応援してくださった方、そして共にしてくださった方に、改めてお礼申し上げます。

NPO法人コモンビート
Musical For All 事務局

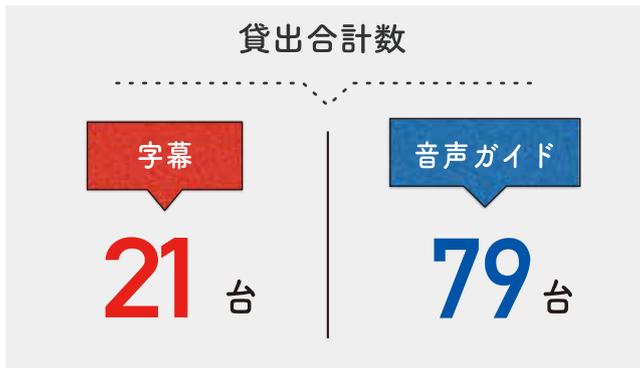


鑑賞のアクセシビリティ

目の見えない方・見えづらい方、耳の聞こえない方・聞こえづらい方をはじめ、あらゆる人にミュージカルをお楽しみいただけるよう、取り組みを行っています。公演情報へのアクセスやミュージカルの鑑賞、公演会場内におけるご案内など、様々な場面でサポートを実施しています。

今年の活動実績

01 字幕・音声ガイドの貸出



音の情報を字幕で表示するタブレット、視覚情報をナレーションする音声ガイド機器の貸し出しを行っています

02 アクセシビリティチケットの販売

「見ること・聞くこと・移動すること」が難しい方々やその介助者に向けて、「お金」のバリアを軽減するため、別の価格帯のチケットを用意しています。

03 チケット販売サイトの電話・メール対応

オンラインでのチケット購入操作が難しい方へ向けて、電話やメール等でチケットをお申し込みいただけるよう、UDastサポートセンターでのチケット販売も行っています。

04 手話通訳による場内案内、前説

場内アナウンスやチケットカウンターなどで、手話通訳によるご案内を行いました。また、新たにミュージカルの前説にも手話通訳を導入しました。



アップデートしたこと

01 字幕・音声ガイドにおけるアップデート

字幕 送出作業を団体スタッフで担当

前年まで、字幕制作会社にご担当いただいていた字幕の送出作業をコンビートのスタッフで担当。これまでに舞台上に立ったキャストが、舞台の進行に合わせてリアルタイムで字幕送出を行っています。



音声ガイド 原稿の見直し

音声ガイドの説明を、より分かりやすいものにするため、これまでに出演した視覚障害のあるキャストにヒアリングを行いました。各場面での表現に改善を加え、62期東京公演より、音声ガイドの原稿をアップデートしました。



02 公演パンフレットの読み上げデータ作成

公演当日にお客様に冊子として配布している公演パンフレットの読み上げデータを作成し、視覚障害のある方へは公演前に送付を行いました。

03 点字の公演パンフレットの試作



助成金を活用し、62期東京公演で点字版パンフレットを作成し、希望者に貸し出しを行いました。コモンビートのパンフレットを全て点字にすると、膨大なページ数になることや、每期情報が変化していく内容もあることから、今後継続した提供を行うにはまだ課題もありますが、初めての試みとして、取り組むことができました。

04 助成金の獲得

62期東京公演が、公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京が実施する、「東京芸術文化鑑賞サポート助成」事業に採択されました。鑑賞の視・聴覚情報支援の活動（音声ガイド・字幕等）に対し、助成金をいただきました。



05 案内掲示の「英語表記」「やさしい日本語表記」

60期名古屋公演以降、場内案内の表示に、「英語表記」と「やさしい日本語表記」を追加しました。言語の表記を増やした掲示を使用することで、たくさんの方が訪れる会場で、スタッフの案内の声だけでは情報が届きにくい方にも、情報を届けやすくなっています。



お客様の声

voice.01

視覚障害者単独でおうかがいしましたが安心して楽しむことができました。本業の傍ら携わってくださったサポーターのみなさん、出演者のみなさんありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

voice.02

舞台は事情を抱える方にとっては、チャレンジしにくいものという印象が元々あったので、どんな人も同じように楽しめるようできる事を行う取り組み、素敵だと感じました。

voice.03

手話通訳や音声ガイドなど、物語の中だけでなく観ている私たちとの壁を無くそうとしているのが本当に素晴らしいです！

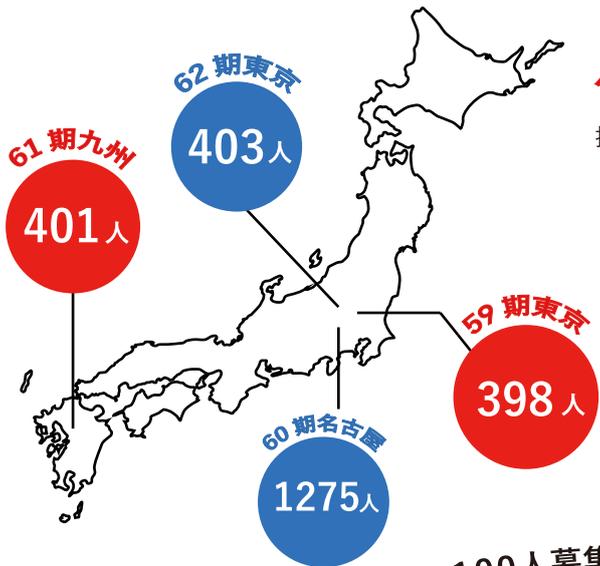
ACTIVITIES 02

あらゆる子どもたちに届けたい! 青少年招待

「未来を担う子どもたちにこそ、文化芸術に触れて心が躍る体験をしてほしい。」

でも、子どもたちは自分たちだけでは鑑賞をすることが難しいうえに、家族で観劇するとなれば費用もネックになります。そこでコモンビートでは、ミュージカル公演に17歳以下の子どもとその保護者を無料で招待する「青少年招待」を行っています。この活動は、「チケットサンタ(マンスリーサポーター)」からのご寄付により支えられ、全国で継続的に取り組むことができます。チケットサンタのみならず、あたたかなご支援をありがとうございます。

今年の招待実績



合計の実績

招待人数数: 2,477名
招待団体数: 76団体
招待学校数: 219校

チケットサンタ
102名→225名
(23年度→24年度)

マンスリーサポーターの愛称決定

「チケットサンタ」

青少年招待の活動を支援いただいている「マンスリーサポーター」の愛称を「チケットサンタ」と命名しました。子どもたちに「ミュージカルのチケット」というプレゼントをするサンタさんのような存在、というコンセプトで名付けました。



100人募集キャンペーンの実施

青少年招待の活動を全国で継続して行っていくために、新規でチケットサンタを100人募集するキャンペーンを行いました。

期間: 2024年9月1日~9月30日

目標

100人

結果

123人

支援総額 101,872円



子ども表現ワークショップの開催

ミュージカル「A COMMON BEAT」を観賞する子ども向けに、表現ワークショップを開催。鑑賞だけでなく、子どもたちが表現を実際に「やってみる」機会の提供として、本作品に出てくる世界のダンス、歌や手話などを取り入れた企画となりました。60期名古屋公演・61期九州公演に合わせて開催し、2地域合計で約460名の親子が参加しました。

青少年招待マンスリーサポーター「チケットサンタ」募集中

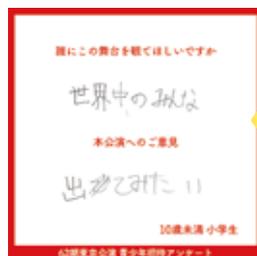
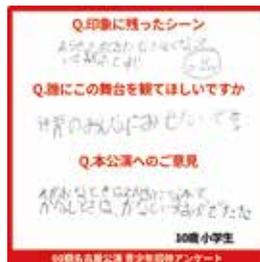
来年度も、全国で継続的にミュージカル「A COMMON BEAT」の公演に子どもたちを招待していきます。ぜひ、子どもたちにエンターテインメントの心躍る瞬間をプレゼントする「チケットサンタ」になって、ご支援いただけましたら幸いです!



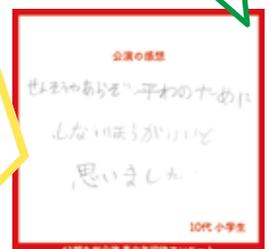
お申し込みはこちらから

子どもたちや保護者の方の声

子どもたちが様々な経験を得られることで、新しい考え方や生き方を考える糧になるといいなと思い、応募しました。子育て世代にとって、とても素敵な取り組みと感じます。今後もぜひお願いします。(40代保護者)



芸術に触れる機会を持たせたいと思っても、ミュージカルは結構な値段。興味を持つかどうかわからない子どもを連れてとなるとためらってしまいます。が、招待だとダメも子どもたちに貴重な機会をありがとうございました!(40代保護者)



参加におけるアクセシビリティ

昨年に引き続き多様な人へ、「鑑賞」だけでなく、キャストとしての「参加」の間口も広がっています。現場のレベルでコミュニケーションの取り方を模索し、プログラムスタッフだけでなく、ともに活動するキャストにも、たくさんの気づき、学びの経験となっています。

活動の実績

東京のプログラムでは、昨年キャストとして参加した視覚障害のあるキャストや身体障害のあるキャストの、プログラムスタッフや公演の会場運営スタッフとしての参加、また、新規の視覚障害のあるキャスト参加がありました。また、他地域のプログラムでも、聴覚に障害のあるキャストが新たにキャストとして参加しました。

トピック

01

プログラム内資料の
読み上げ用データの作成

東京では、視覚障害のある人のキャスト参加が増えており、プログラム内容をより適切に伝えるため、プログラム内で使用する主な資料の読み上げ用データを作成し、配布しました。



02

練習現場での工夫

コモンビートの練習で行うアクティビティには、「書く」ことや、配布された資料を「見る」ことがあります。また、コモンビートで扱うチケットは紙チケットで、複数の種類があります。これらは、視覚障害のあるキャストにとって、バリアとなりやすい部分です。「書く」ことについては、文章を代筆したり、音声で残すことを提案しました。「見る」ことについては、資料を読み上げ用のデータにしたり、視覚でしかわからない情報を言葉にして伝えるなど、工夫をしています。練習現場のスタッフや、キャストも一緒になって、参加するキャスト全員が楽しめるように取り組んでいます。

03

スタッフの幅が広がる

キャストとしてプログラムに参加したあとは、公演の会場運営スタッフとして次期の公演をサポートするという流れが、障害の有無に関わらずあらゆるキャストに生まれてきています。また、プログラムスタッフとしての参加も進み、プログラム運営側も多様になってきています。



62期東京プログラム / 作成した資料

- ・キャストプロフィール
- ・スタッフプロフィール
- ・公演チラシ
- ・本番資料(スケジュール、持ち物等)
- ・チケットに関わる情報
- ・メイクガイドライン
- ・台本
- ・キャスト募集要項
- ・キャスト参加規約
- ・配役表



参加者の声

59期東京キャスト兼スタッフ
62期東京キャスト

voice

01

2023年の57期東京100人100日ミュージカル®プログラムに初出演。59期東京ではキャスト兼スタッフとして参加し、前期の振り返りを踏まえ、視覚障がい者の視点からプログラム環境にアプローチしました。さらに続けて62期東京にキャストとして参加し、アクセシビリティがいつでも「当たり前」に整備され続けることの難しさを痛感しました。同時に、運営者の中に障がい当事者がいることの価値を感じました。簡単ではないからこそ、挑戦する価値があります。

62期東京キャスト

voice

02

私は今回のプログラムで初めて目の見えない方と関わりました。一緒に活動する中で言葉にしてコミュニケーションをとることの大切さを感じ、お互いに自分の事を沢山話していききました。とてもダンスが上手だったり、見えていないことで戸惑いながらも努力していることを知ったり、自分で分かるように日々工夫している事を知りました。初めは話しかけることすら迷いましたが、声をかけたことで、今では仲の良い深い関係になり嬉しく思っています。今後自分が何かできるのでは、と感じた時、さっと声を掛けられる人になりたいです。

収入の部		
事業収入		¥157,000
助成金収入		¥750,000
協賛金収入	企業協賛	¥200,000
寄付金収入	青少年招待マンスリーサポーター寄付	¥1,749,974
	一般寄付	¥115,837
合計		¥2,972,811
支出の部		
外注費	公演アクセシビリティ整備費	¥2,521,860
招待費	青少年招待チケット費用	¥4,940,000
通信運搬費	青少年招待チラシ発送費	¥213,047
旅費交通費	スタッフ移動費用	¥48,580
消耗品費	発送備品費用	¥10,053
印刷製本費	青少年招待チラシ印刷費	¥426,621
業務委託費	HP・ロゴ・画像制作費	¥40,000
支払手数料	Syncable	¥228,870
雑費		¥680
		¥8,429,711
合計		
収支		
		-¥5,456,900

※別途、事務局担当スタッフの人件費が間接費としてかかっています。

最後に

コモンビートは、表現活動によるダイバーシティ&インクルージョンの推進を通して、自分らしく・たくましい人を増やし、多様な価値観を認め合える社会を実現することで、地球とひとりひとりのより良い状態(ウェルビーイング)を目指しています。

団体設立から20年を迎え、メイン活動である「100人100日ミュージカル®プログラム」には、これまでに全国7,500人の市民が参加し、観客動員は240,000人を超えました。
しかし一方で、戦禍や様々な社会状況により、人々の分断は加速しています。

そんな時だからこそ、あらゆる違いをこえて人を繋ぐエンターテインメントの力を信じたい。ダイバーシティ&インクルージョンを掲げているからこそ、このミュージカルを、分け隔てなくあらゆる人と分かち合いたい。

そんな思いで昨年立ち上げたのが、「Musical For All—あらゆるひとに参加と鑑賞の機会を」です。

2年目となる2024年。気づいたのは、アクセシビリティの整備は、「特定の誰か」のためではなく、そこに携わる「みんな」のための取り組みであるということでした。これまでも誰かが感じていた不便や不自由…私たちが「当たり前」としていた既存のやり方やシステムを、やさしくやわらかく見直す機会として、気付かされることが多くありました。

「Musical For All」の取り組みには、正解も、わかりやすいゴールも、ありません。

多様性の幅を広げていこうとする過程は、迷いと葛藤の連続です。

だからこそ、様々な人や団体と共に模索し、MFAをひとつひとつ、アップデートしていきたいと思っています。

本書を手にとっていただいたあらゆる方に、今年もその歩みを共にしていただければ幸いです。

ぜひ仲間になってください



青少年招待のマンスリーサポーターや
Musical For Allの取り組みへの
ご支援・ご寄付はこちらから!



Musical For All 協賛・協力

ボーダレスハウス株式会社

actcoin

NPO法人日本ブラインドサッカー協会

公益財団法人日本ケアフィット共育機構

一般社団法人手話エンターテイメント発信団oioi

Palabra株式会社

特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク

共感起業大全

一般社団法人ビーラインドプロジェクト

Musical For All Annual Report 2024-2025

2025年3月発行

発行元

特定非営利活動法人COMMON BEAT

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2階

TEL 03-4500-1785

MAIL info@commonbeat.org

HP <https://www.mfa.commonbeat.org/>



Musical For All ホームページ